

人を育てる支援



学校図書館活用教育研修会

担当課 学校教育課

平成28年8月25日(木)、出雲市役所大会議室で開催し、市内小中学校図書館担当教員や学校司書などが参加しました。(教員26名、学校司書10名が参加しました。)

講師は安来市立十神小学校樋野義之教諭にお願いしました。

「学びを支える学校図書館」と題し、以下の内容で、子どもの確かな学びのために様々な学校図書館の活用を提案された研修会でした。

概要は下記のとおりです。

- 学校図書館はあたりまえに使える教育のインフラであるべき。
- 図書館を活用した学習ができるような体制づくりが大切
 - ・「指導体系表」の作成
 - ・学校図書館と担任をつなぐ司書教諭の役割を意識する
 - ・情報発信をする
 - ・学校内で「学校図書館」の話をする など
- 学びのどこで学校図書館の活用を入れるかも大切である。
 - ・主体的な学習ができるよう、導入部分で学習の目的のイメージができるような工夫
 - ・情報活用のスキルを高めるための「情報カード」などの活用
- 日々の授業を楽しく積み重ねていくことで子どもの確かな学びの力が育っていく。
 - 各学校において、積極的に学校図書館を活用した学習活動が実施されるように、今後も効果的・先進的な取組を紹介できる研修会を企画したいと思えます。



子ども読書活動支援(おはなしゆうびんやさん)状況

ブックトークやストーリーテリングを行う専門ボランティアの派遣を実施しています。

今年度も、学校等で活用いただきました。

*子ども読書活動支援事業(ゆうびんやさん)実施件数(平成29年2月末まで)

ストーリーテリング実施件数	311件(保育所・幼稚園等も含む)
ブックトーク実施件数	67件

派遣した学校の感想を紹介します

- ★みんなとても楽しみにしていました。前回のストーリーテリングで聞いたお話を繰り返し読む姿が見られました。また、これまで興味のなかった内容の本の面白さを知ること、読書の幅を広げていくことができたようです。ストーリーテリングは、自分でイメージを膨らませながらお話の世界に入っていくことができるので、文字や長文に抵抗のある子どもやあまり本を読まない子どもも満足そうな表情をしていました。私自身(教員)も真剣に聞き入ることができました。(小学校)
- ★(本を紹介する人が)おだやかな語り口でひきこまれました。本の紹介をしていただいたあと、本を借りた生徒がすぐに1冊読み終え、もう1冊貸してくださいと言いに来ました。また別の生徒は厚い本でしたが、「もうここまで読んだよ、おもしろかったよ」と感想を言いに来てくれました。(中学校)

学校司書・読書ヘルパー研修

学校図書館関係者の研修はカリキュラムにより実施しています

学校司書

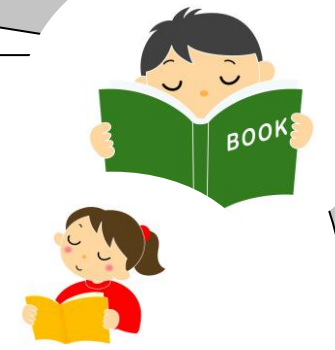
授業支援の事例発表 4月28日(木)

事例紹介をしました。学校司書が資料収集に学習の始めから関わることにより、効果的な学習支援ができることがわかりました。

読書ヘルパー

学校図書館の役割や業務、情報交換 5月19日(木)

学校図書館に勤務する者として知っておきたいこととお話し、各学年の単元で活用できる図書資料のリストを提供をしました。情報交換も行いました。



基本研修

実務研修

読書活動支援研修

ブックコート装備 7月29日(金)

*合同実施

最近、殆どの場合が装備済みで図書を購入するため、学校図書館の業務として行う機会は少ないですが、基本的知識・技術は必要であることから実施しました。

学校図書館資料の修理相談&情報交換 8月4日(木)

*学校司書のみ

塩冶小学校図書館で実際に指導を受けながら、修理と情報交換を行いました。図鑑は修理してもすぐに壊れてしまうため、手間をかけて修理するべきか判断に迷う等の相談もありました。

講演「子どもの読書とメディア」11月22日(火)

講師 末宗辰彦氏

*合同実施

近年の子どもの成長の異変の要因には、「メディアからの弊害」があります。幼児期からの家族とのふれあい(言葉のやり取り等)と子どもの体験(五感)がいかに大切であるかを例をあげながらお話いただきました。また、学校図書館や公共図書館の職員は、子どもの読書活動に関わる者として「読書」の良さを伝えていく使命があり、どんな本をすすめるべきか知識を持つことが大切であることを提言されています。

講師のテキストより「絵本・児童文学参考文献」(書名のみ)を紹介します。

「児童文学論」「絵本とは何か」「本・子ども・大人」「絵本論」「幼い子の文学」

あとがき

寒かった冬も終わり、春の穏やかな陽が注ぐようになりました。新たな生活に向け、期待と不安に心が揺れ動きまくる時期ですね。

新しい年度、学校図書館の活動に向け「こんなことをしてみたい」という小さな芽がでたら一緒に育てていきましょう。

